

# 令和3年度自衛隊統合演習（実動演習）について

## 演習の目的

自衛隊統合演習（実動演習）は、我が国の防衛及び警備のために必要な陸海空自衛隊相互間の連携要領、いわゆる「統合運用能力」の維持・向上のために実施します。

## 演習の沿革

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、15回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します（実動演習は8回目）。

## 演習の実施場所

日本全国にある訓練空域・海域及び基地等を使用して実施します。

## 演習の実施期間

令和3年11月19日（金）～11月30日（火）の間（前後に準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

## 演習の内容

演習の目的に基づき、我が国防衛のための3自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。特定の国や地域等を対象としたものではありませんが、我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

# 令和3年度自衛隊統合演習（実動演習）について

## その他関連する訓練

- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電子戦
- 指揮所活動に係る訓練



## ➤ 総合ミサイル防空



## ➤ 空挺作戦



## ➤ 水陸両用作戦



## ➤ (共同) 統合対艦攻撃



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

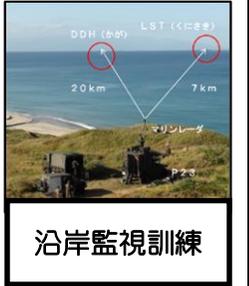
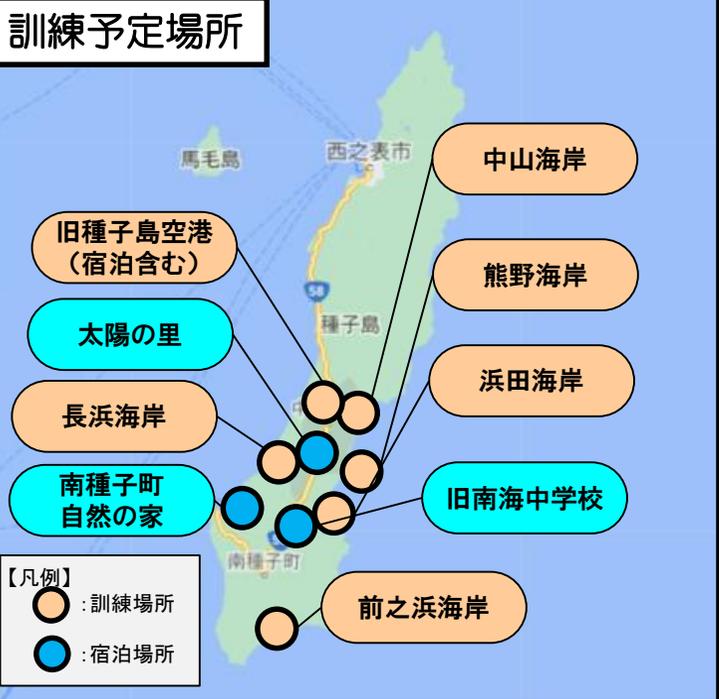
## 令和3年度自衛隊統合演習（実動演習）の 鹿児島県における訓練について

- 同演習において実施する鹿児島県内の訓練は、
  - ①水陸両用作戦訓練
  - ②総合ミサイル防空訓練及び統合対艦攻撃訓練
  - ③統合後方補給（輸送・衛生）訓練
  - ④基地警備訓練
  - ⑤空挺作戦訓練
  - ⑥統合電子戦訓練を予定しています。なお、②の一部の訓練に米軍が参加する予定です。  
訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。
- 訓練の実施に際しては、安全管理を徹底するとともに、周辺住民の皆様の生活に支障がないよう可能な限り配慮します。
- また、各自衛隊・米軍ともに新型コロナウイルス感染症対策を講じて、訓練を実施します。  
具体的な自衛隊のコロナ対策の例は次のとおりです。
  - ・ 訓練開始14日前からの体調経過観察
  - ・ ワクチン接種2回又は直前のPCR検査での陰性確認
  - ・ 住民との接触を極力回避
  - ・ コロナ患者発生時の速やかな隔離及び後送
- 11月25日（木）、種子島において水陸両用作戦訓練の報道公開（マスコミ関係者約10名参加）を実施する予定です。実施に際しては、新型コロナウイルス感染症対策をマスコミ側にも徹底させます。

# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (水陸両用作戦訓練)

① 水陸両用作戦訓練では、種子島及びその周辺海空域において、水陸両用車（AAV）、ホバークラフト（LCAC）、ヘリコプター（CH-47J/A）及び偵察用ボートを使用した着上陸訓練と、これに連携した沿岸監視訓練、UAV操作訓練、水際障害構成訓練を実施します。

- 期 間：令和3年11月16日（火）～12月2日（木）（準備・撤収期間を含む）
- 参加部隊：陸上自衛隊（西部方面隊、水陸機動団等）、海上自衛隊掃海隊群、航空自衛隊航空総隊等  
（人員約600名程度、車両約150両（施設機械及び水陸両用車等の装備品を含む）、舟艇等約30隻、航空機5機程度）



# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (総合ミサイル防空及び統合対艦攻撃訓練)

② 総合ミサイル防空訓練及び統合対艦攻撃訓練では、四国沖訓練海空域において、各部隊間の連携要領について訓練を実施します。本訓練のため、海上自衛隊鹿屋航空基地に航空自衛隊の早期警戒機E-2C等、米海兵隊の輸送機及び地対艦ミサイル部隊が、また、種子島に陸上自衛隊の地対艦ミサイル部隊がそれぞれ展開します。なお、各地対艦ミサイル部隊は展開訓練のみで実弾射撃は行いません。

- 期 間：令和3年11月22日（月）～26日（金）（夜間フライトを調整中）
- 参加部隊：航空自衛隊警戒航空団（人員約80名）、陸上自衛隊西部方面隊（人員約5名、車両2両、12式地対艦誘導弾）、88式地対艦誘導弾（人員約25名、車両約10両）、米海兵隊（人員約15名、車両2両）

### 訓練予定場所

海上自衛隊  
鹿屋航空基地

訓練海空域

種子島  
(①旧種子島空港、②天女ヶ倉公園、③カシミア橋北側、④中山海岸、⑤種子島空港)

### 訓練イメージ

			
航空自衛隊 E-2C (鹿屋航空基地)	米海兵隊 KC-130 (鹿屋航空基地)	米海兵隊 ミサイル部隊 (鹿屋航空基地)	陸上自衛隊 地対艦ミサイル部隊 (種子島)

◆ 米軍の行動(11月24日を予定)

鹿屋航空基地

①進出 KC-130

②着陸、卸下

③模擬射撃 (シミュレーション)

④搭載、離陸

⑤帰投 KC-130

ミサイル部隊

# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (船舶による部隊輸送)

③ 統合後方補給（輸送）訓練では次の訓練を実施します。

(ア) 細島港～西之表港～名瀬港～沖縄県中城湾港～西之表港～鹿児島港間で、PFI船舶※による部隊輸送

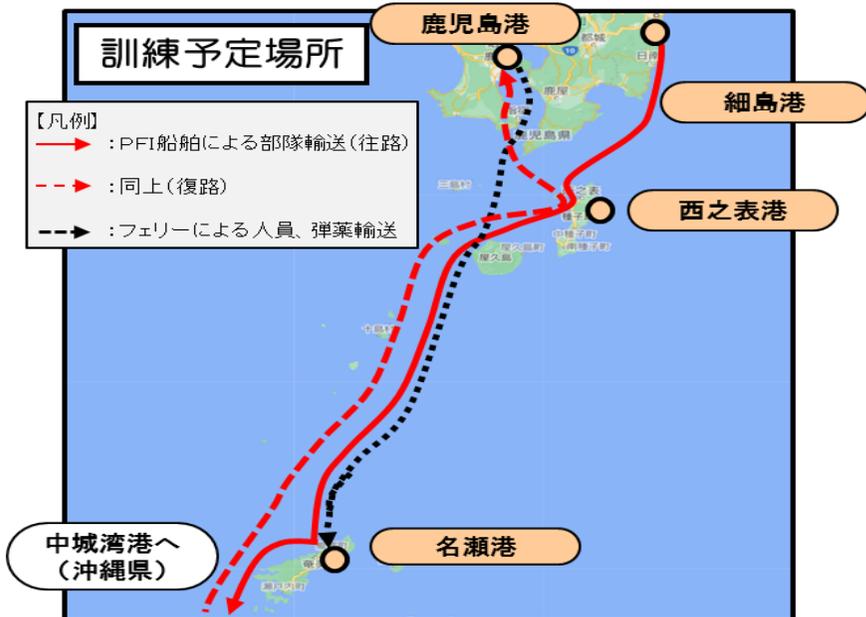
(陸自部隊の一部が西之表港で下船し、種子島において水陸兩用作戦訓練に参加、空自部隊（地对空誘導弾（PAC3）が名瀬港で下船し、奄美大島（奄美駐屯地）において展開訓練を実施）

(イ) 鹿児島港～名瀬港間で、フェリーによる人員、弾薬輸送

※ PFI：Private Finance Initiativeにより防衛省がチャーターした民間船舶

○ 期 間：11月18日（木）～12月1日（水）のうち往路4日間、復路2日間程度

○ 参加部隊：陸自西部方面隊、空自航空総隊（人員：約500名、車両：約150両（軽装甲機動車、近距離地对空誘導弾（近SAM）、地对空誘導弾（PAC3）等）



## 訓練イメージ



フェリーによる人員、弾薬輸送



PFI船舶(はくおう)による部隊輸送



フェリーによる人員、弾薬輸送  
(船内)



PFI船舶(はくおう)による部隊輸送

# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (患者後送)

③ 統合後方補給（衛生）訓練では、種子島～種子島沖～沖縄本島において、患者後送の訓練を実施します。

- 期 間：令和3年11月24日（水）～25日（木）
- 参加部隊：陸上自衛隊水陸機動団、陸上自衛隊西部方面隊、海上自衛隊掃海隊群、航空自衛隊航空救難団、自衛隊那覇病院等

## 訓練予定場所



## 訓練イメージ



# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (基地警備訓練)

④ 基地警備訓練では、陸上自衛隊の部隊が航空自衛隊奄美分屯基地において、在所部隊及び奄美警備隊による基地警備訓練を実施します。

- 期 間：令和3年11月21日（日）～11月30日（火）
- 参加部隊：在所部隊及び奄美警備隊

## 訓練予定場所



## 訓練イメージ



# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (空挺作戦訓練)

⑤ 空挺作戦では、陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が種子島前之浜海浜公園において降下訓練を実施します。

- 期 間：令和3年11月21日（日）～ 26日（金）
- 参加部隊：陸上自衛隊陸上総隊、航空自衛隊航空支援集団  
(人員 約50名、航空機 2機 (陸自回転翼機：CH-47、空自固定翼機：C-130))

## 訓練予定場所



## 訓練イメージ

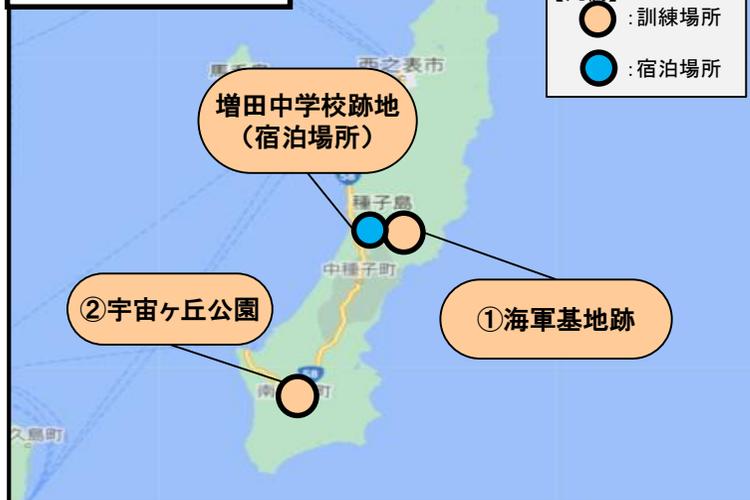


# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (統合電子戦訓練(種子島、奄美))

- ⑥ 統合電子戦訓練では、四国沖に所在する艦艇、航空機との連携要領について訓練を実施します。本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が、①海軍基地跡及び②宇宙ヶ丘公園にそれぞれ展開します。

- 期 間：令和3年11月20日(土)～11月27日(土)の間展開(準備撤収期間を含む)
- 参加部隊：陸自西部方面隊
  - ① 海軍基地跡 人員約20名、車両(NEWS(電子戦用)、中小型トラック(支援器材等運搬用)約6両)
  - ② 宇宙ヶ丘公園 人員約20名、車両(NEWS(電子戦用)、中小型トラック(支援器材等運搬用)約7両)

## 訓練予定場所



## 訓練イメージ



陸上自衛隊 NEWS\*

※ NEWS : Network Electric Warfare System  
(ネットワーク電子戦システム) 電波の収集・分析・妨害等を実施

# 鹿児島県内で実施を検討している訓練内容 (統合電子戦訓練 (奄美))

⑥ 統合電子戦訓練では、陸上自衛隊の通信部隊が陸上自衛隊瀬戸内分屯地（予備：海上自衛隊奄美基地分遣隊または陸上自衛隊奄美駐屯地）にそれぞれ展開し、通信状況の確認等を実施します。

- 期 間：令和3年11月19日（金）～11月30日（火）のうち約1週間程度展開（準備撤収期間を含む）
  - 参加部隊：陸自西部方面隊 西部方面システム通信群（人員約12名、車両約6両（大型×4、中型×2））
- ※ 予備地使用の場合も、人員・車両数変更なし。

## 訓練予定場所



## 訓練イメージ

奄美大島～沖縄本土にかけて、陸自OHを主体とした通信回線構成訓練を実施する。



陸上自衛隊 OH\*多重通信装置

展開規模	全体の展開地積
大型車両×4	19m×22m、 アンテナ高は最大7m